



研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成
 ～アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を通して～

めざす生徒の姿

- ・自ら学ぶ価値や意味を見出し、主体的に学習に取り組む姿
- ・基礎的・基本的な内容を理解し、それらを活用して問題解決する姿
- ・仲間とともに学習課題を追究し、根拠を明確にして判断したり、豊かに表現したりする姿
- ・授業の中での自己の変容を自覚し、次の学習への意欲をもつ姿

研究仮説

日常活動やソーシャルスキルトレーニング等を通して学びを深め合える学習集団をつくり、アクティブ・ラーニングの視点から授業を改善することを通して、主体的に学ぶ生徒を育成することができる。

生徒が自分たちで学習を進められるように、課題を作るための視点や対話を深める言葉について指導の手立てを考える必要がある。

- 【研究主題】** 「主体的に学ぶ生徒の育成～アクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善を通して～」
【研究内容】
- (1) 単位時間の役割を明確にした単元構造図の作成
 - ・単元におけるつきたい力と単位時間の役割の明確化（板書記録や教材などの累積）
 - (2) アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善
 - ・導入や課題解決の見通しをもたせる学習指導の工夫
 - ・対話的な学びを生み出すための展開時の学習指導の工夫
 - ・自己の変容や学びを実感させるための終末時の学習指導の工夫（まとめを書く時間の確保）
 - (3) 授業の中で学びを深め合う学習集団づくり
 - ・クラスの仲間と一緒に誇りをもって学ぶ学級集団づくり
 - ・学びに集中できる学習環境づくり
 - ・コミュニケーション能力を高めるためのソーシャルスキルトレーニング

単位時間の役割を明確にした単元構造図の作成	アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善	授業の中で学びを深め合う学習集団づくり
<input type="checkbox"/> 各単位時間の役割の明確化 <input type="checkbox"/> 各単位時間の学習の見通しの明確化 <input type="checkbox"/> 単元を貫く学習活動の位置づけ <input type="checkbox"/> 各単元における「対話的な学び」を生み出す視点の位置づけ <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、生徒が見通しをもてる単元構造	①導入や課題解決の見通しをもたせる学習指導の工夫 ②対話的な学びを生み出すための展開時の学習指導の工夫 ③自己の変容や学びを実感させるための終末時の学習指導の工夫 	<input type="checkbox"/> クラスの仲間と一緒に誇りをもって学ぶ学級集団づくり <input type="checkbox"/> 学びに集中できる学習環境づくり ・話し方、聞き方、机列など <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力の育成 ・ソーシャルスキルトレーニング